



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 道明

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,741	△1.5	△770	—	△801	—	△857	—
23年3月期第2四半期	15,981	△1.5	70	—	43	—	△270	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △918百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.96	—
23年3月期第2四半期	△0.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	8,843	80.5	7,121	80.5	
23年3月期	9,351	85.3	7,965	85.3	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,121百万円 23年3月期 7,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	2.3	△670	—	△740	—	△800	—	△2.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月11日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	289,747,982 株	23年3月期	289,747,982 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	88,158 株	23年3月期	87,651 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	289,659,998 株	23年3月期2Q	289,661,748 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーン復旧により生産活動の低下等に改善の兆しがみられるものの、福島原発事故に伴う電力供給不安、欧州諸国の財政問題による信用不安、継続的な円高の進行、依然として厳しい雇用情勢等、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、貴金属市況において金・銀・プラチナ等の貴金属価格が回復基調にあったことから業績は概ね好調に推移いたしました。不動産市況においては、一部で不動産価格の底打ちの兆候が見られるものの、資金調達環境の改善の兆しはみられず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。機械事業においては、中国をはじめとするアジア諸国や欧州、北米の主要3地域の需要増加等、工作機械の受注は回復基調にあり、中古工作機械の販売は概ね堅調に推移いたしました。他方、たな卸評価の見直しに基づく損失を計上したことから、業績は低迷いたしました。投資事業におきましては、運用損失および投資評価損を計上したことから業績は低迷いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は15,741,080千円（前年同四半期15,981,483千円）、営業損益は770,438千円の損失（前年同四半期の70,828千円の利益）、経常損益は801,217千円の損失（前年同四半期43,095千円の利益）、四半期純損益は857,652千円の損失（前年同四半期270,557千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は14,720,425千円（前年同四半期14,801,840千円）、営業損益は111,478千円の利益（前年同四半期54,673千円の利益）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は83,689千円（前年同四半期25,021千円）、営業損益は24,695千円の損失（前年同四半期76,944千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は936,964千円（前年同四半期839,193千円）、営業損益は2,415千円の損失（前年同四半期8,634千円の利益）となりました。

投資事業におきましては、有価証券等に投資を行っており、営業損益は683,043千円の損失（前年同四半期305,278千円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より508,057千円減少し、当第2四半期末は、8,843,483千円となりました。

増加の主なもの、貸付商品の増加（1,169,709千円の増加）、預け金の増加（998,829千円から1,560,826千円へ561,997千円の増加）であります。

減少の主なもの、現金及び預金の減少（1,940,784千円から867,067千円へ1,073,717千円の減少）、受取手形及び売掛金の減少（1,132,350千円から28,268千円へ1,104,082千円の減少）であります。

(負債)

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より335,915千円増加し、当第2四半期末は、1,721,531千円となりました。

増加の主なもの、デリバティブ債務の増加（189,310千円から582,614千円へ393,304千円の増加）であります。

(純資産)

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より843,972千円減少し、当第2四半期末は、7,121,952千円となりました。

減少の主なもの、利益剰余金の減少（△4,771,529千円から△5,629,181千円へ857,652千円の減少）であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より、1,073,717千円減少し、867,067千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は753,107千円（前年同四半期は1,182,747千円の使用）となりました。これは主に売上債権の減少額1,104,081千円等があったものの、税金等調整前四半期純損失908,121千円、貸付商品の増加額1,169,709千円等があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は265,182千円（前年同四半期は75,175千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出245,468千円等があったことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は55,427千円（前年同四半期は194,286千円の獲得）となりました。これは主に短期借入れによる収入50,000千円等があったものの、長期借入金の返済による支出84,413千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,940,784	867,067
受取手形及び売掛金	1,132,350	28,268
有価証券	35,847	4,000
商品及び製品	779,953	839,861
仕掛品	116,741	116,851
原材料及び貯蔵品	50,623	47,688
販売用不動産	357,080	315,513
仕掛不動産	431,085	431,852
貸付商品	—	1,169,709
預け金	998,829	1,560,826
デリバティブ債権	141,360	7,955
その他	39,728	53,358
流動資産合計	6,024,384	5,442,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,039,655	1,092,752
減価償却累計額	△179,920	△220,263
建物及び構築物（純額）	859,734	872,488
機械装置及び運搬具	520,657	561,223
減価償却累計額	△320,362	△327,643
機械装置及び運搬具（純額）	200,295	233,579
土地	1,548,845	1,548,845
建設仮勘定	58,348	48,860
その他	81,049	120,199
減価償却累計額	△61,759	△66,838
その他（純額）	19,290	53,360
有形固定資産合計	2,686,515	2,757,134
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	5,894	5,436
無形固定資産合計	370,894	370,436
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	471,123	487,019
敷金及び保証金	147,082	150,294
その他	11,513	11,513
貸倒引当金	△471,123	△487,019
投資その他の資産合計	269,746	272,958
固定資産合計	3,327,156	3,400,529
資産合計	9,351,540	8,843,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,635	40,923
1年内返済予定の長期借入金	168,826	197,814
未払金	51,317	40,547
未払法人税等	34,626	24,813
債務保証損失引当金	15,896	—
デリバティブ債務	189,310	582,614
その他	20,776	25,307
流動負債合計	491,388	912,020
固定負債		
長期借入金	640,967	556,566
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
資産除去債務	169,567	171,488
長期未払金	69,912	63,509
預り敷金保証金	6,747	10,912
固定負債合計	894,227	809,510
負債合計	1,385,616	1,721,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△4,771,529	△5,629,181
自己株式	△30,916	△30,930
株主資本合計	7,979,619	7,121,952
少数株主持分	△13,695	—
純資産合計	7,965,924	7,121,952
負債純資産合計	9,351,540	8,843,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,981,483	15,741,080
売上原価	15,248,432	15,814,739
売上総利益又は売上総損失(△)	733,050	△73,658
販売費及び一般管理費	662,222	696,779
営業利益又は営業損失(△)	70,828	△770,438
営業外収益		
受取利息	206	101
国庫補助金収入	9,806	10,066
その他	3,825	1,743
営業外収益合計	13,837	11,910
営業外費用		
支払利息	5,509	6,006
休山管理費	32,666	34,842
その他	3,394	1,840
営業外費用合計	41,571	42,689
経常利益又は経常損失(△)	43,095	△801,217
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	18,980	15,896
貸倒引当金戻入額	17,007	—
特別利益合計	35,987	15,896
特別損失		
貸倒引当金繰入額	189,980	15,896
前期損益修正損	12,809	—
固定資産除却損	—	2,801
減損損失	—	104,102
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136,927	—
特別損失合計	339,716	122,800
税金等調整前四半期純損失(△)	△260,634	△908,121
法人税、住民税及び事業税	9,923	9,922
法人税等合計	9,923	9,922
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△270,557	△918,043
少数株主損失(△)	—	△60,390
四半期純損失(△)	△270,557	△857,652

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△270,557	△918,043
四半期包括利益	△270,557	△918,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270,557	△857,652
少数株主に係る四半期包括利益	—	△60,390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△260,634	△908,121
減価償却費	44,993	73,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	172,973	15,896
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△18,980	△15,896
受取利息及び受取配当金	△206	△101
支払利息	5,509	6,006
前期損益修正損益 (△は益)	12,809	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136,927	—
有形固定資産除却損	—	2,801
減損損失	—	104,102
少数株主損益 (△は益)	—	74,085
売上債権の増減額 (△は増加)	△655,197	1,104,081
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△207,887	△16,284
貸付商品の増減額 (△は増加)	—	△1,169,709
仮払金の増減額 (△は増加)	1,785	975
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,618	30,287
未払金の増減額 (△は減少)	△3,978	△8,343
デリバティブ債権の増減額 (△は増加)	△23,170	133,405
デリバティブ債務の増減額 (△は減少)	△137,060	393,304
預け金の増減額 (△は増加)	△271,898	△561,997
その他	40,198	14,872
小計	△1,157,197	△727,399
利息及び配当金の受取額	206	72
利息の支払額	△5,510	△6,016
法人税等の支払額	△20,246	△19,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,182,747	△753,107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,788	△245,468
長期未収入金の増加による支出	△18,980	△15,896
敷金及び保証金の差入による支出	△183	△4,376
その他	6,776	558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,175	△265,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	△2,000	△21,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△53,493	△84,413
配当金の支払額	△197	—
その他	△22	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,286	△55,427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,063,636	△1,073,717
現金及び現金同等物の期首残高	2,389,182	1,940,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,325,545	867,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	14,801,840	25,021	839,193	315,428	15,981,483	—	15,981,483
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,033	—	—	8,033	△8,033	—
計	14,801,840	33,054	839,193	315,428	15,989,517	△8,033	15,981,483
セグメント利益又はセグメント損失(△)	54,673	△76,944	8,634	305,278	291,641	△220,813	70,828

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,813千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△220,813千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	14,720,425	83,689	936,964	—	15,741,080	—	15,741,080
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,033	—	—	8,033	△8,033	—
計	14,720,425	91,723	936,964	—	15,749,114	△8,033	15,741,080
セグメント利益又はセグメント損失(△)	111,478	△24,695	△2,415	△683,043	△598,675	△171,762	△770,438

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,762千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用△171,762千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて77,200千円、全社資産において26,902千円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。